

酢酸アミル

神港有機化学工業株式会社

発行日:2016 年 04 月 26 日

バージョン:1.0

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名 : 酢酸アミル

製品コード : SS1W18000

供給者情報

供給者の会社名称 : 神港有機化学工業株式会社

住所 : 兵庫県神戸市東灘区住吉浜町 1 8 番地の 2 6

担当部門 : 営業部 (電話番号:06-6264-0491 FAX:06-6264-8229)

緊急連絡先情報 : 本社工場(TEL:078-811-1931)

2. 危険有害性の要約

製品の GHS 分類、ラベル要素

GHS 分類

物理的危険性	引火性液体	: 区分 3
健康有害性	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 区分 2B
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分 3(麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分 3(気道刺激性)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分 1

(注) 記載なき GHS 分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

絵表示

(GHS-JP)



注意喚起語 (GHS-JP) : 危険

危険有害性情報 (GHS-JP) : 引火性液体及び蒸気
 眼刺激
 呼吸器への刺激のおそれ
 眠気又はめまいのおそれ
 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (神経系)

注意書き

[安全対策] : 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源 から遠ざけること。一禁煙
 容器を密閉しておくこと
 容器を接地すること/アースをとること
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること
 ミスト/蒸気/スプレー を吸入しないこと
 取扱い後は手などをよく洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面 を着用すること
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
 火花を発生させない工具を使用すること
 静電気放電に対する予防措置を講ずること

[応急措置]	指定された個人用保護具を使用すること
	： 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること 気分が悪いときは医師に連絡すること 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること 火災の場合：指定された消火剤を使用する。 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。 皮膚を流水／シャワーで洗うこと 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと
[保管]	： 製品は通常の条件下での取扱いおよび保管において安定である。
	： 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと 施錠して保管すること 日光から遮断すること
[廃棄]	： 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質

成分名	含有量	化審法番号	CAS 番号
酢酸イソアミル	≥98%	(2)-733	123-92-2

安衛法番号

酢酸イソアミル : 2-(6)-201

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

応急措置 一般	： ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること
吸入した場合	： 気分が悪いときは医師に連絡すること 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
皮膚に付着した場合	： 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。 皮膚を流水／シャワーで洗うこと 多量の水と石鹸で優しく洗うこと 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること
眼に入った場合	： 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること 眼の中に全て水が行き届くように洗浄する
飲み込んだ場合	： 気分が悪いときは医師に連絡すること 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤	： 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂を用いる
特有の危険有害性	： 火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある 消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある
消火を行う者への勧告	
特有の消火方法	： 適当な距離から注意して消火すること 区域より退避させること 安全に対処できるならば着火源を除去すること
消火を行う者の保護	： 消火作業従事者は適切な保護具を着用する

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 および緊急時措置	： 区域より退避させる 適切な保護衣を着用していないときは破損した容器や漏洩物に触れてはいけない 回収が終わるまで充分な換気を行う
環境に対する注意事項	： 漏出した物質の下水や排水溝への流入は、適切な対策なしに行ってはならない
封じ込め及び浄化方法及び機材	： 多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する 乾燥した土、砂、不燃材料に吸収もしくは覆って容器に移す 清浄な帯電防止工具を用いて吸収したものを集める
二次災害の防止策	： 危険でなければ漏れを止める 全ての発火源を取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止） 排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ 着火源を取除くとともに換気を行う

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	： ミスト/蒸気/スプレー を吸入しないこと 火花を発生させない工具を使用すること 静電気放電に対する予防措置を講ずること 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源 から遠ざけること。一禁煙 容器を接地すること/アースをとること 皮膚に触れないようにする。眼に入らないようにする。
注意事項	： 取り扱い中は適切な全体換気を行い、蒸気濃度が増大することを防止する
安全取扱注意事項	： 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと 静電気放電に対する予防措置を講ずること 火花を発生させない工具を使用すること 指定された個人用保護具を使用すること 容器を接地すること/アースをとること 使用前に取扱い説明書を入手すること
保管	
安全な保管条件	： 容器を密閉しておくこと 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと 施錠して保管すること

避けるべき保管条件	製品は通常の条件下での取扱いおよび保管において安定である。
	： 日光から遮断すること
	他の物質から離して保管すること
	熱源から離れたところに保管すること 長期間の保管を避ける

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

(酢酸イソアミル)

管理濃度	： 50ppm
許容濃度(産衛学会)	： 50ppm(266.3mg/m ³)
許容濃度(ACGIH)	： TWA 50 ppm, STEL 100 ppm

ばく露防止及び保護措置

設備対策	： 適切な換気および密閉の装置を使用する 取扱いにおいては、局所排気装置を使用する 作業場所に、緊急時のシャワーおよび洗眼の設備を設ける
呼吸用保護具	： 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること
手の保護具	： 保護手袋を着用する
眼の保護具	： 保護眼鏡/顔面保護具を着用する
皮膚及び身体の保護具	： 保護衣を着用する
衛生対策	： 取扱い後は手などをよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと

9. 物理的及び化学的性質

形状	： 液体
色	： 無色
臭い	： 芳香臭
pH	： 知見なし
沸点	： 142 °C (101.3 kPa)
融点/凝固点	： -78.5 °C
分解温度	： 知見なし
引火点	： 25 °C (密閉式)
自然発火温度	： 379 °C
爆発特性	： 知見なし
爆発範囲 (上限、下限) (g/m ³)	： 知見なし
爆発限界 (vol %)	： 1 - 10 vol %
蒸気圧	： 0.53 kPa (20 °C)
相対蒸気密度 (20 °C)	： 4.5
比重 (密度)	： 0.87 (20/4 °C)
粘度 (粘性率)	： 1.03 mPa.s (9 °C)
溶解度	

水への溶解度	: 微溶
溶媒への溶解度	: ほとんどの有機溶媒に混和する
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: 2.13

10. 安定性及び反応性

反応性	: 引火性液体及び蒸気
化学的安定性	: 製品は通常の条件下での取扱いおよび保管において安定である。
危険有害反応可能性	: 該当データなし
避けるべき条件	: 日光、熱、裸火、高温、スパーク、静電気、その他発生源
混触危険物質	: 酸、塩基、酸化性物質、還元性物質
危険有害な分解生成物	: 炭素酸化物 (CO、CO ₂)

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)

(酢酸イソアミル)

ラット LD₅₀ = 16600 mg/kg (RTECS (2004)) に基づき区分外とした。

LD₅₀ 経口 ラット : 16600 mg/kg (RTECS (2004))

急性毒性 (経皮)

(酢酸イソアミル)

ウサギ LD₅₀ > 5000 mg/kg (RTECS (2004)) に基づき区分外とした。

LD₅₀ 経皮 ウサギ : > 5000 mg/kg (RTECS (2004))

急性毒性 (吸入:気体)

(酢酸イソアミル)

GHS 定義により液体。

急性毒性 (吸入:蒸気)

(酢酸イソアミル)

データ不足のため分類できない。

急性毒性 (吸入:粉塵/ミスト)

(酢酸イソアミル)

急性毒性 (吸入:粉末) : データなし。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

(酢酸イソアミル)

異性体混合物を試験物質としたウサギの皮膚刺激性試験において、「僅かな刺激性」との評価 (DFG0Tvol. 11 (1996)) に基づき区分 3 とした。なお、ヒトで本物質を皮膚に反復適用した試験で「適用時に揮発によりかなりの割合の試験物質の消失が考えられる」と記述されているが、197 人の被験者に何ら刺激性が認められなかった事実はある (DFG0Tvol. 11 (1996)) が、(DFG0Tvol. 11 (1996))。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

(酢酸イソアミル)

異性体混合物を試験物質としたウサギの眼刺激性試験の結果は軽度 (刺激性スケール 10 段階中 2 番目) であり (ACGIH (2001))、ヒトでは本物質または異性体混合物の主に吸入曝露により、眼あるいは結膜に刺激性が報告されている (ACGIH (2001)、DFG0Tvol. 11 (1996))。これらの事実に基づき区分 2B とした

呼吸器感作性又は皮膚感作性

(酢酸イソアミル)

皮膚感作性 : 本物質を 5% 含む異性体混合物を試験物質としたモルモット maximization test の結果、
"thesensitizingpotentialofthetestsubstanceisatmostslight" と記述

されている（DFG0Tvol. 11(1996)）ので区分外とした。なお、ヒトで本物質を皮膚に適用した試験で「適用時に揮発により試験物質のかなりの消失が考えられる」と記述されているが、197 人の被験者全てに感作性が検出されな

呼吸器感作性 : データなし。

生殖細胞変異原性

(酢酸イソアミル)

データ不足のため分類できない。

発がん性

(酢酸イソアミル)

データなし。

生殖毒性

(酢酸イソアミル)

データなし。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

(酢酸イソアミル)

本物質あるいは異性体混合物の吸入曝露により、ヒトでは鼻・咽頭・気管など主に上気道の症状が報告され（DFG0Tvol. 11（1996）、HSDB（2003））、特に気管に刺激が強いとの記述（DFG0Tvol. 11（1996））もあり、気道刺激性が示唆された。さらに、ラットで麻酔作用が観察され（ACGIH（2001））、ネコで軽度の中枢抑制（HSDB（2005））、イヌで傾眠（HSDB（2005））が報告されていることから、区分 3（気道刺激性、麻酔作用）とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

(酢酸イソアミル)

異性体混合物の職業曝露を受けた一部のヒトで視野狭窄が報告され（DFG0T vol. 11(1996)）、また、神経毒性を惹き起こすとの記載もある（PATTY（5th, 2001））。さらに、ウサギで反復曝露により組織学的に視神経の変性が認められている（DFG0Tvol. 11,（1996））。これらの知見に基づき区分 1（神経系）とした。

吸引性呼吸器有害性

(酢酸イソアミル)

動粘性率 14 mm²/s 以下であるが、化学性肺炎等を示す動物データがないので分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)

(酢酸イソアミル)

甲殻類（オオミジンコ）の 24 時間 EC₅₀=205mg/L（AQUIRE、2003）から、区分外とした。

EC₅₀ ミジンコ 1 : 205 mg/l

水生環境有害性(長期間)

(酢酸イソアミル)

難水溶性でなく（水溶解度=2000mg/L（PHYSPROP Database、2005））、急性毒性が低いことから、区分外とした。

残留性・分解性 : データなし

生体蓄積性 : データなし

土壌中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること
この製品、容器は適法な設備、方法で処理するか、もしくは正式認可を得

た処理業者に内容を明確に開示して処理を委託する

14. 輸送上の注意

国連番号/国連分類

国際規制

国連番号	:	1104
品名	:	酢酸ペンチル
危険物輸送分類	:	3 - 引火性液体類
容器等級	:	III

国内規制

緊急時応急措置指針番号	:	129
海上規制情報	:	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	:	航空法の規定に従う。
その他の情報	:	運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	:	非該当
労働安全衛生法	:	第2種有機溶剤等（施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号） 酢酸イソアミル 作業環境評価基準（法第65条の2第1項） 酢酸イソアミル 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条1、施行令第18条） 酢酸イソアミル 危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号） 酢酸イソアミル 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9） 酢酸ペンチル
化学物質排出把握管理促進法（P R T R法）	:	非該当
消防法	:	第4類引火性液体、第二石油類非水溶性液体（法第2条第7項危険物別表第1・第4類）
大気汚染防止法	:	揮発性有機化合物 法第2条第4項（有機溶剤中毒予防規則中の該当物質） 酢酸イソアミル
船舶安全法	:	引火性液体類（危規則第2，3条危険物告示別表第1）
航空法	:	引火性液体（施行規則第194条危険物告示別表第1）
海洋汚染防止法	:	有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1） 酢酸イソアミル
外国為替及び外国貿易法	:	輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」 酢酸イソアミル 輸出貿易管理令別表第1の16の項 酢酸イソアミル 輸出貿易管理令別表第2（輸出の承認） 酢酸イソアミル
港則法	:	その他の危険物・引火性液体類（法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）
道路法	:	車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）

	酢酸イソアミル
特定有害廃棄物輸出入規制法 (バーゼル法)	: 廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの（平10三省告示1号）
	酢酸イソアミル
労働基準法	: 疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1）
	酢酸イソアミル

16. その他の情報

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。